

1 『幼馴染のフェラ練習に付き合ったら気持ち良すぎてどハマりしそう』

2 ASMR 脚本

3
4

5 ◆登場人物

6

7 ・魅冬（みふゆ）

8 ・隣の家に住む主人公の幼馴染。

9 ・いつも笑顔なマイペースな女の子で、ちょっと抜けてるところがある。

10 ・主人公とは幼い頃から家族ぐるみで付き合いがあるため、よく一緒に遊んでいる。

11 ・今でも主人公の部屋に遊びに来る程で、距離感がかなり近い。

12 ・クラスの男子からも人気はあるが、魅冬は告白されても全員断っている。

13 ・主人公に対しての恋愛感情は「好き」だが、今の関係性が崩れたらという恐怖から、一歩踏み出せずにいる。

14 ・クラスメイトとのガールズトークで、フェラの事を知り、主人公に試してみようと考えてる。

15

16 ・あなた

17 ・魅冬の同い年の幼馴染。

18 ・魅冬に対しては、幼い頃からの付き合いというもあり恋愛感情を抱いていないと考えているが

19 内心好意を抱いている。

20 ・どこか抜けている魅冬が放っておけず、よく面倒を見ているが魅冬から頼み事をされると、断れない。

21		
22		
23		
24		ハフェラの練習
25		
26		場所：あなたの部屋 ・夕方
27		・主人公の部屋に遊びに来た魅冬。
28		
29		SE ⑩中：扉が開く音
30		
31	⑩中	「お邪魔しま〜す」
32		
33		SE ⑩中：魅冬が扉をくぐる足音（お邪魔しま〜すとの最中に）
34		SE ⑩中：扉が閉まる音（お邪魔しま〜すとの最中に
35		
36		SE ⑥近：主人公が少し歩く音（1,2歩）
37		
38	⑥中	・主人公、また来たの？ 的な反応
39		「えへへ。来ちゃった〜」
40		「お家にいるよりも、ここにいる方が楽しいんだよね〜」
41		「でも、ただくつろぎに来たわけじゃないよ？ 今日ちゃんと用事があるんだ〜」
42		
43		・魅冬、あなたの側に近づく。
44		
45		SE ⑥中→⑥近：魅冬が近づいてくる足音
46		
47		・相談事をどう伝えようか悩みつつ
48	⑥近	「えっとね、お願い的な？」
49		
50		・その…は少し長めに伸ばして
51		「その…」
52		
53		・間
54		
55		SE ⑥近→⑥接：衣擦れの音
56		
57		・魅冬、耳元で。
58	⑥接	「えっと…あなたの、おちんちん舐めさせてほしいなって思って〜」
59		
60		・主人公、魅冬の間に動揺。
61		・間
62		

63

・魅冬、慌てて

64

SE ⑨接↓⑦近：衣擦れの音と主人公が一步下がる足音

65

66

⑦近

「そうだよね：急に言われたら驚くか」

67

68

・魅冬は主人公を落ち着かせるため理由を説明

69

「えっとね、友達と話してたら、彼氏とエッチなことしたとか、そういう話をしてね。その中で：フェラっていうのをしたって話題になったの」

70

「でも、私ってそういう：経験ないから、どうなんだろうって気になってね」

71

「頼める人なんて、あなたしかいないし：それで、頼もうって思っ」

72

「どうか？」

73

74

・主人公、理由を言われても：という反応

75

・間

76

77

「うーん：でも、ただ舐めさせてほしいだけだし」

78

⑦近↓⑥近

79

SE ⑥近：魅冬が両手を合わせてお願いする音（パン）

80

81

「お願い！ 付き合っ！ ね？ ね？」

82

83

・主人公、魅冬の練習に付き合うと回答。

84

・間

85

86

「えへへ、ありがと」

87

「もしかしてそっちも興味とかはあったのかな？ そうなら嬉しいんだけど」

88

「とにかくやってみよう」

89

90

・2人、ベッドへ

91

92

SE ⑥近・下側：歩く音（2人）

93

SE ⑫近・下側：ベッドが軋む音

94

95

・魅冬、主人公の股間あたりに顔を合わせて。

96

「じゃあ、ズボン降ろしちゃうね」

97

⑥近・下側

98

99

・遠慮する主人公に対して

100

「これくらい、サービスだよ手伝ってもらうわけだし」

101

102

SE ⑥近・下側：ベルトを外す音

103

「おちんちん見るの、何年ぶりだろう？ 子供の頃はよく一緒にお風呂入ってたけど」

104

SE ⑥近・下側：チャックを降ろす音

「久しぶりのおちんちん、ちょっと楽しみかも」

SE ⑥近・下側：衣擦れの音

・魅冬、主人公の性器を見て驚き。

「…え？」

「これ…おちんちん？ 本当に？」

・魅冬、動揺しながら。

「いや、なんか昔見た時と全然違うようなく…それに…変わった匂いもするし…蒸れてる感じっていうか？ そんな感じだ」

「そっかあ…男の子って成長するところなるんだね…子供の頃とは全然違うんだ…」

・主人公、大丈夫的？ な質問

・間

「大丈夫だよ。ちょっとびっくりしたけど…」

「それじゃ、行くよ」

・魅冬、フェラ開始

※始めはキス中心で。

「ちゅっ…ちゅっ…ちゅっ…ん…ちゅっちゅっ…」

・舌を出して先を舐め始める。

「んっ…ちゅっ…れろ、れろ…れろれろ…ちゅっ…れろれろ…れろちゅっ…」

・魅冬、主人公の方を向いて。

「やり方…変じゃないよね？ なんか、大きくなってる気がするけど、大丈夫なんだよね？」

・主人公、大丈夫的な反応。

・間

「ん、それじゃあ…続き…」

「ちゅっ…ちゅっ、ちゅりゅ…ちゅ…れろ…れろれろ…んちゅっ…

れろ、ちゅっ…んっ…ビクッてした♡ ちゅっ…れろ…れろれろ…ちゅりゅ…ちゅっ…」

147 ・魅冬、少しだけ嬉しそうに。
148 「んふっ、ここ…気持ちいいの？ ちゅっ、れろれろ…ちゅ、れろれろれろ…」
149

150 ・魅冬、舐めの比率を上げていく。
151 「れろれろ…ちゅっ、ちゅうっ…れろ、れちゅ…れろれろれろ…んっ…ちゅっ、れろれろ…
152 ちゅりゅりゅりゅ…れろ、れりゅ…」
153

154 「気持ちいい？」
155

156 「えへ〜よかった♡」
157

158 ・魅冬、一度性器から顔を離し。
159

160 「すごい…さっきよりもパンパンになってる♡ これなら…もっと色々できそう」
161

162 「ん…やってみるね♡」
163

164 ・魅冬、性器を口に含んでフェラ開始。
165

166 「んっ…くふっ、んっ…んん、じゅ…じゅりゅ…んじゅ…じゅぷ…じゅぼ、じゅぽっ
167 …んじゅりゅ…じゅぷぷっ…」
168

169 「じゅぶっ…じゅぼっ、じゅぼ、じゅぼ、じゅぷじゅぼ…、れじゅずじゅ…
170 んじゅぽっ、じゅぼ…じゅぼ…じゅりゅりゅ…」
171

172 ・口を離し
173

174 「ぷはあ…これ…口の中にいれると、匂い…広がって…んんっ…」
175

176 ・興奮しながら
177

178 「なんだか…むずむずしてきちゃう…」
179

180 「あっ、ん〜ん。なんでもないよ。続き、やっていくね」
181

182 「じゅぼ、じゅぼ、じゅりゅ…じゅっ、じゅぷじゅぼ、じゅりゅ…ちゅっ
183 …んっ、また大きくなった…ちゅっ、じゅ…じゅぞぞ…」
184

185 「ふわあ、やつぱりムズムズする…れじゅ、じゅぷ、じゅぼ、じゅっ、じゅぞぞ…
186 れろれりゅちゅ…じゅぶぶっ…」
187

188 「んっ！ なんか先っぽからあ…でてきた？ じゅぶちゅ…れろれろ…じゅぶ、じゅちゅ…」
189

190 ・魅冬、一度、口を離し主人公の方を向いて
191

192 「ぷはあ…はあ…あ、糸引いちやってる…気持ちいいってことなのかな？」
193

194 ・魅冬、嬉しそうに
195

196 「んふっ…それじゃあ…もっと頑張っちゃおうかなあ〜」
197

198 ・魅冬、亀頭にキス
199

200 「…ちゅっ！」
201

189 ・魅冬、激しめフェラ開始

190 「んふっ♡ ふゝ…ふゝ…んんっ♡ んじゅ、じゅじゅ、じゅりゅ…じゅぞぞ…
191 じゅぶちゅ…じゅりゅ…

192 んあ、れじゅ…じゅぶちゅ…れちゅ…じゅりゅ、じゅぼっ…」

193 「んっ…れろれる…じゅぼ、じゅぼじゅぼっ！ んふっ、れろれる…れろじゅ…
194 じゅっ、ぐっぼぐっぼ…じゅぶ、じゅぼぞぞ」

195 「ふう…ふう…んんっ、むくむくっして…出そう？

196 ん、れろれる…いゝよっ…そのまま出しちゃって？」

197 「こーない射精って言うんだっけ？ そういうのも、経験…しておきたいし…

198 それに、ここまでやったら…最後まで気持ち良くしたいもん」

199 「どうぞ、お口の中に、遠慮なく出しちゃえ…じゅぶ、じゅりゅ…じゅぞぞ…
200 じゅぶじゅぼじゅちゅちゅ…」

201 ・魅冬、さらに激しめフェラ

202 「んっ、じゅぼ！ じゅぼ！ じゅりゅじゅじゅ…んっ…

203 じゅりゅ、じゅぶ、じゅぞぞ…んっ、なんか…ふくらんで…きたあっ！」

204 「んあっ、んっ、んっ、じゅぼ、じゅぞぞぞぞぞ…っ！」

205 ・主人公、魅冬に口内射精

206 SE ⑥近・下側…射精音

207 「んんっ！ んっ、ふううっ！ んんっ、んっ、んっ、ふうう…！」

208 「んぐっ、んぐっ…んっ…ふっ…んんっ…ぐっ…ごくり」

209 ・魅冬、ごっくん

210 「んっ…んんっ、ふっ…はああ…ごく、ごく…んぐっ…ごく…んんっ…ぷはあ…」

211 「んっ…ふう…えへへ…ごちそうさまでした」

212 ・魅冬、嬉しそうに

213 「付き合ってくれてありがとう」

214 「はふゝおちんちんを舐めるのってこういう感じなんだね」

215 「うん、結構楽しかった。それに…私もドキドキしちゃったし」

216 「あっ、ううん。こっちの話」

217 「これで友達の話にもついていけそう。ありがとね」

218 ・主人公、この話、するの？ 的な反応

219 ・間

220 「あ、そうだね。この話は…私達だけの秘密にしておいた方がいいのかな？」

221 「うん、そしたらこれは、2人だけの秘密にして」

231	
232	
233	
234	
235	③接
236	
237	
238	
239	③接↓⑥接
240	
241	
242	
243	
244	
245	
246	
247	

	・魅冬、こそこそ話をする感じで顔を主人公の耳に近づけ
	SE ⑥近↓⑨接：衣擦れの音
	「また、こういうエッチな隠し事：増やせたら、嬉しいな♡」
	「私も：ちよつと、ドキドキしちゃったし。またしようね♡」
	・小声で
	「…ふふ、言っちゃった♡」
	・間
	・いたずらっぽく
	「んーん、なんでもないよっ！ ふふっ！」
	・幼馴染のフェラ練習に付き合ったら気持ち良すぎてどハマりしそう
	END (2006)